



# 「さそいあって参加しよう」

## ● 第1金曜日を「大阪きづがわ」の行動日に

毎週金曜日に、関電前で抗議活動をすすめています。第一金曜日に行動日を決めました。午後6時から7時半まで関電前で、抗議活動をしています。この間に多くの組合員さんが来て下さいますように、誘い合って参加ください。

当日の抗議行動では、歩行者の通行の妨げにならないように、抗議行動を下さす。

「再稼働反対」関西電力前で参加者の声がビル街に響きわたります。

「原発0」多くの国民の願いです、停電、経済の停滞、マスメディアを通じての色んな脅かしにもかかわらず、出来るならやめて欲しいとの思いも含めて今のままでの再稼働には多くの国民は賛成していません。

この夏の酷暑を国民の協力もあって乗り越えた(電力不足)ではありませんか。福島の原因さえまだ不明のまま、地震(天災)に全てを転嫁して自然災害で予測不能でしかたなかった、安全神話の復活はごめんです。

息長く原発ゼロの運動を続け、子供や孫に影響を与えないエネルギーに変える為にも反対の意思表示を続ける必要があります。

### 関電前抗議集会



**流れ始めた「団結の川」**  
理事長 蒲生健

設立を祝う会は大成功しました。来賓の皆さん、組合員、職員の皆さん本当にありがとうございます。ありがとうございました。

木津川地域での「世のため人のため」を願う人々が立ち上がる、全国的に例がないような大事業をやりとげた実績があります。

わたしたちの運動こそが、新たな歴史を創ることを確信しました。

木津川とは木の集まる川という意味ですが、木を「気」と読み替えば「団結の川」となります。さあ「よきよき」きづがわゆめぶらん3カ年計画の実現のため力強く前進しましょう。

## 「ゆめをカタチに」3カ年計画

# きづがわ ゆめぶらん

生協強化月間

私達、大阪きづがわ医療福祉生協がスタートして半年がすぎました。10月からは新しい生協ではじめての生協強化月間がスタートします。6月の総代会で採択された3カ年計画を進めるために全組合員が参加しましょう!

スタート!

### 3カ年計画の目標と『きづがわゆめぶらん』が目指すもの

- 1 事業計画**
  - > わかば歯科のリニューアル
    - なぜリニューアルするの?
    - 約30年の経過の中で医療機器及び利用満足度の向上などにむけ、設備的な課題をクリアする事と歯科スタッフの継続的な確保のためです。
  - > しおかぜ移転計画と新規介護施設づくり
    - なぜ移転するの?
    - グループホームしおかぜ開設は2003年4月1日、開設当時に指摘事項とならなかった建築基準及び消防法などのコンプライアンス及び安全に関する事項が改定され、遵守する上では新規移転が必要と判断したからです。
    - 新規施設づくりとは?
    - 新規事業は24時間365日、安心安全の施設のモデル事業としてショートステイを視野に入れた事業を計画しています。
  - > 西成区でのお泊まりデイサービス試行
    - なぜお泊まりデイサービスなの?
    - 西成区にある認知症デイサービスはさらなる柔軟な対応をすすめるため、デイサービス利用者のショートステイ的役割を担う「組合員が必要とするお泊まりデイサービス」の実現を目指します。
  - > 浪速区でのデイサービスづくり
    - なぜデイサービスなの?
    - 拠点の事業所づくりを通じて地域に住む高齢者の要求に応え、私達の医療福祉生協の存在を浪速区に広げるためです。
- 2 目標課題**
  - > 5000人の組合員増
  - > 1億5000万円の出資金(純増)
- 3 職員育成**
  - > 組合員ぐるみの職員確保、育成
  - > 職員紹介制度・研修制度の制定
- 4 3カ年大運動**
  - > 10000人の組合員が担う大運動



### がもう健きづがわ往来 ②

#### 「千代と千本」

九月九日の日曜日、定例の史蹟めぐりを西区で行なった。出発は大正橋である。この橋は大正時代に架けられた当時としては日本一のアーチ橋であった。現在の橋は二代目である。初代大正橋を設計した若きエンジニアは、その後謎の心中をしている。その相手の名は「千代」ではなかった。

大正橋から西区にさかのぼると、地名は千代崎である。地下鉄の駅名にもなっている。そのいわれは、かつて木津川河口近くにあって、防波堤に植えられた松並木のことを「千株の並木」として千代の栄の色を現わし」と、表現されたことによるという。

千本松は防波堤と共に、大正時代の造船所建設ブームの中で破壊され、今は地元の西成区の地名に「千本」として残るだけである。西区と西成区の町の地名が木津川でつながっていたことは意外であった。

行政区の区分は役所の都合で付けたもの、人々は川の流れの中で生きてきたのである。



大正エリア ●



準備も楽しい夏祭り

8月25日(土)にわかば歯科前と組合員ひろばで納涼そうめん流しとプチ縁日(スーパーボールすくいと輪なげ)を行いました。

この日に合わせてそうめんを流す竹を切りに行ったり、そうめんを用意したりと準備からみんな楽しんでいました。ふだんはわかば歯科の駐車スペースも夕方にはガラッと装いを変えそうめん流しの場に。竹を流れるそうめんに大人も子どもも一緒になって一生懸命すくって楽しく食べました。プチ縁日のスーパーボールすくいと輪なげもあって楽しい時間はあっという間に過ぎていきま

納涼そうめん流しとプチ縁日

美味しいそうめん流しにつどう



した。子どもたちの日記に残るようなイベントになったかな。当日のスタッフ・組合員さんや地域の方を含め50人の方が参加されました。

西成エリア ●

今年で24回目！平和盆踊り

8月24日25日に西成区で平和盆踊りを開催しました。地域の民主団体と共同で取り組み、今年で24回目となりました。



準備の時は、大雨がふりましたが、本番では見事な夏空で、たくさんの地域の方が来てくれました。「平和だからこそ盆踊りができる」このスローガンで、カンパ集めもが

学童の子どもたちによるエイサー



んぱりました。よってたかってみんなできつくりあげる西成名物の平和盆踊り、医療生協の組合員や職員も積極的に関わっています。八尾小鉄丸さんの歌声とギターと太鼓の生演奏も本格的です。今年は、学童の子どもたちにエイサーを披露して頂きました。大好評でした。来年も、また平和で盆踊りが開けられるように頑張りましょう！

「平和だからこそ盆踊りができる」



今年は初めて食品メーカーの食育セミナーに参加してもらいました

した。自分でつくったものは格別なものでとてもおいしくいただきました。お土産にケースをいただいたので、帰ってから早速、またもバターをつくることたちでした。

体験しながら、身近なことに気づかせてくれることどもほけん学校。今から来年の企画もたのしみになっています。ありがとうございました。

すぎのこ学童クラブ指導員 坂口 俊之

さあ！バターをつくらう！



来年の企画も楽しみ「ことどもほけん学校」

ことどもほけん学校

西エリア ●

生クリームからバターづくり

毎年、趣向を凝らした内容で子どもたちが楽しみにしている「ことどもほけん学校」に今年も参加させてもらいました。

今年は牛乳について教えていただきました。写真あり、クイズありでとてもわかりやすく、その後、実際にバターをつくらせてもらい、子どもたちはとても満足な1日でした。

バターをつくる時に生クリームをいっしょうけんめいふって、フタを開けた瞬間、生クリームが固まっているのを見て、驚きと感動で思わず歓声が上がりが

西エリア ●



大盛況！100人以上の参加

7月26日、医療生協ながほり通りで夏祭りが行なわれました！前半は紙芝居が登場。「なにわのゴリちゃん」の迫力ある紙芝居に子どもたちも大喜び！後半は大人タイム。心地よい音楽に浸りながら、ビール片手に組合員さんが丹精こめて作ったちらし寿司や焼きそばなどをいただきました。外では当てものやスーパーボールすくいも大盛況で、まさにお祭り状態☆短時間でしたが100人以上の方々に楽しんでいただきました。

ゴリちゃんの紙芝居、みんなどきどきワクワク



施設がオープンして2周年ということもあり、職員や西区の理事、運営委員さんと協力して大きなイベントを成功させることができました。

外ではあてもんやアイス、スーパーボールなどたくさん並び、まるで縁日のよう



大人も子どもも楽しんだひととき

